

住友電装グループについて

住友事業精神と住友電装グループ基本理念を経営理念とし、この実現のため住友電装グループ企業行動憲章とSWS WAYに沿って行動します。

経営理念

住友事業精神

「住友事業精神」の源流をたどれば、住友家初代・住友政友が遺した『文殊院旨意書』にまで遡ることになります。この教えは、住友家の家訓として住友の歴史とともに長く受け継がれて来ました。住友電装グループにおいても、「住友事業精神」を最上段の経営理念と位置付けています。

第一条は、住友の事業は、何よりも信用・信頼を大切にすることを基本にすべきことを謳っています。

第二条は、社会の変化に迅速・的確に対応し利潤を追求すべきであり、既存の事業に安住することなく常に事業の興廃を図るという積極進取の精神が重要であることを明確にしています。その一方で、「浮利」、即ち、一時的な利益や道義にもとる不当な利益の追求を厳しく戒めています。

住友電装グループ基本理念

住友電装グループ基本理念にある「Connect with the Best」には、「製品が担う接続の役割だけでなく、私たちを取り囲むあらゆるつながりを、最良の方法でどこにも負けないものにする」という意味を含んでいます。この基本理念を私たちの共通の認識として、強い意志と熱意で事業に取り組んでいます。

住友電装グループ企業行動憲章

2006年に制定した「住友電装グループ企業行動憲章」は、「住友事業精神」「住友電装グループ基本理念」に基づき、社業の繁栄・持続的成長を通じて持続可能な地球社会の発展に貢献し、国際社会やステークホルダーから信頼される企業集団をめざすためのグループの役員・社員の行動規範・指針です。7カ国語に翻訳し、世界中のグループ社員と共有しています。

SWS WAY

SWS WAYは、グローバル化の進展に伴い、当社の歴史の中で伝承されてきた仕事に対する基本的な考え方や取り組み姿勢を、全世界の当社グループ各社社員に共有し、同一の目的に向かって業務推進するために、2005年に明文化した、いわば私たちの行動原則です。

8ページに集約された冊子版「SWS WAY」を、24カ国語に翻訳し、従業員に配付しており、その内容は7章30項目と幅広く定めています。

当社グループ各社で働く一人ひとりが同内容をよく理解し、日頃から「SWS WAYに則って仕事に取り組んでいるか」などが議論されています。



住友事業精神

【第一条】

我が住友の営業は、信用を重んじ、
以てその鞏固隆盛を期すべし

【第二条】

我が住友の営業は、時勢の変遷、
弛張興廃することあるべしと雖も、
苟も浮利に趨り、
軽進すべからず

住友電装グループ基本理念

私たちは「Connect with the Best」の精神で

- ・社業の繁栄を通じて地球社会に貢献します
- ・質の高い活動により顧客満足を実現します
- ・創造と変革により企業の未来を拓きます
- ・誠実と信頼を基本に高い企業倫理を保持します
- ・個性を尊重し活力溢れる明るい企業文化を育みます

住友電装グループ企業行動憲章(抜粋)

1. 優れた製品・サービスの提供
2. オリジナリティのある新事業・新製品の開発
3. グローバルな事業展開とグループ全体の成長・発展
4. 地球環境への配慮
5. 法令の遵守
6. 公正・適正な事業活動
7. 社会の一員としての自覚ある行動
8. 国際社会との協調
9. 働きやすい職場環境の構築と人材の育成
10. 適切な情報開示とコミュニケーションの促進

会社概要

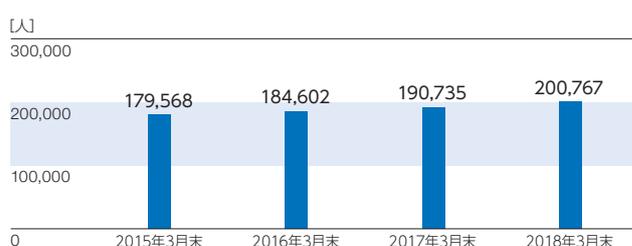
住友電装は日本産業勃興期の1917年に設立、電線の製造からスタートしました。第二次世界大戦後の日本のモータリゼーションと同時に、自動車用ワイヤーハーネスおよびその部品の製造に着手して以来、ワイヤーハーネス製造の合理化に力を注ぎ、品質確保とコスト低減を進めてきました。そして現在、ワイヤーハーネスのグローバル・サプライヤーとして、日本のみならず世界でもトップクラスの実績を誇っています。これからも自動車メーカーの世界最高水準のパートナーとして、たゆみない前進を続けていきます。

商号 住友電装株式会社
 設立 1917(大正6)年12月
 社長 川井 文義
 資本金 200億42百万円(2018年3月31日現在)
 本社 三重県四日市市浜田町5番28号
 関連会社 国内：13社/海外：101社
 従業員数 国内：12,987人/海外：187,780人
 計 200,767人(2018年3月31日現在)

売上高



グローバル人員数



グローバル事業展開

本社

〒510-8528
 三重県四日市市浜田町5番28号
 TEL：(059) 354-6200(代表)
 FAX：(059) 354-6318

東京本社

〒107-0051
 東京都港区元赤坂1丁目3番13号
 赤坂センタービルディング11階
 TEL：(03) 6384-5600
 FAX：(03) 6384-5601

日本

関連会社：13社

- 営業・支店
- 製作所・事務所・センター
- ◆ 住友電装グループ・関連会社

中国

法人数：29社

豪亜

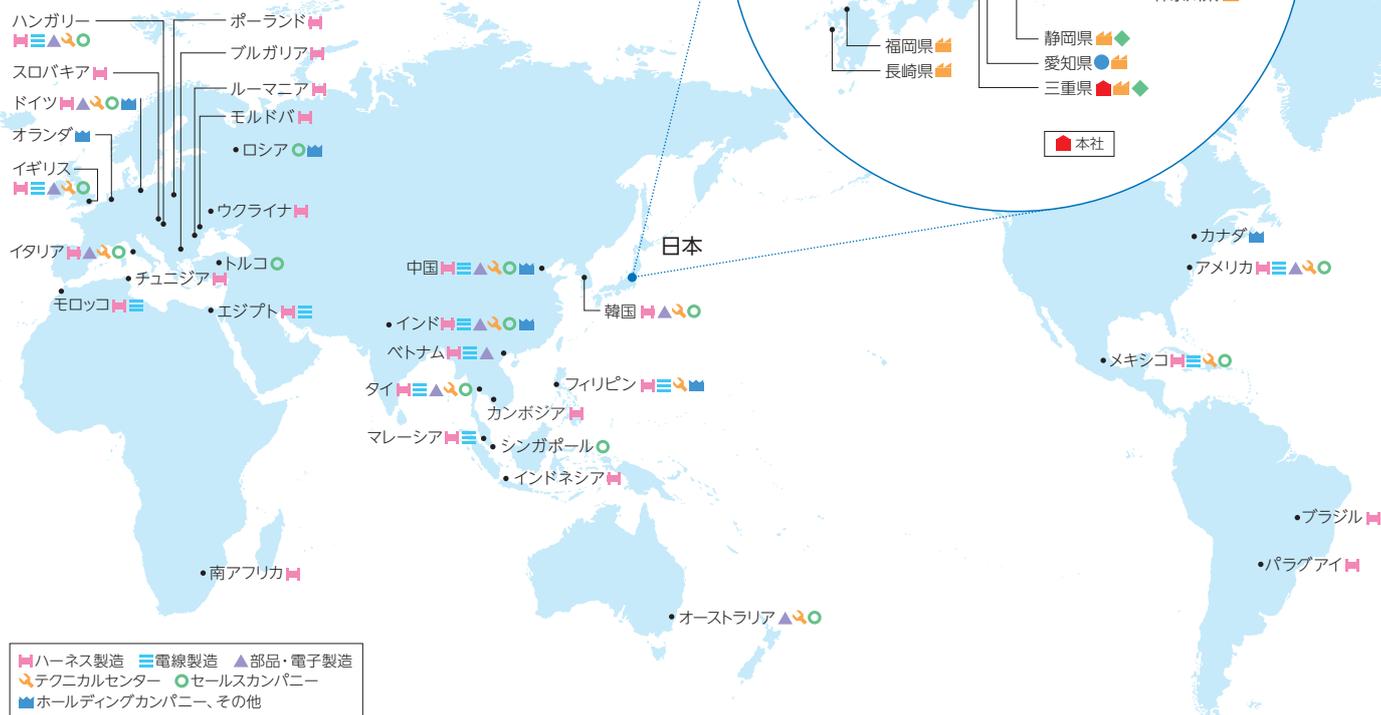
法人数：25社

米州

法人数：11社

欧州・アフリカ

法人数：31社



製品概要

グローバル・サプライヤーとして、世界を舞台に自動車用ワイヤーハーネスおよびその部品、オフィス機器用のワイヤーハーネス、各種ケーブルの製造販売を行っています。

自動車用ワイヤーハーネス

多くの部品をつなぎ電気信号を伝えるワイヤーハーネスは、文字通り車の「生命線」。高い技術力を誇る当社のワイヤーハーネスは、自動車そのものの進化を支えてきました。大幅な軽量化に成功したアルミハーネスは、燃費の向上に貢献。高電圧・大電流に対応する床下パイプハーネスは、ハイブリッド車の安全・安心につながっています。近年も大容量・高速化を実現する高速通信関連製品を開発し、次世代の車を見えない部分で支えています。



ワイヤーハーネス



アルミハーネス

ハーネス構成部品

コネクタ

電線を接続する役割を担うコネクタは、高温、振動、防水、ノイズなどの厳しい車載環境に対応しています。また情報化に対応し、GPS・TVなどの電波受信機器と電線をつなぐコネクタなど、多様なバリエーションを備えています。



TSシリーズ 防水0.64型コネクタ

電線

エンジン始動、照明、計器などに使われる電気信号や、電気エネルギーを伝える役割を担っており、この電線1本1本の束がワイヤーハーネスを構成しています。



アルミ電線

エレクトロニクス製品

急速にインテリジェント化が進む自動車に、今後ますます欠かせなくなっていくのが、高性能の電子部品です。住友電装では、キー操作不要のスマートエントリーシステムを実現させた電子部品や、最新の自動運転システムを支える部品なども数多く開発しています。



バスバー基板
リレーモジュール



セントラルゲートウェイ
ECU



EPBハーネス一体型
車輪速センサー

その他ワイヤーハーネス



二輪用ハーネス

EV/HEV/PHEV用製品

住友電装は「環境」をキーワードにした技術開発にも積極的に取り組んでいます。身近な存在となった電気自動車やハイブリッド車、プラグインハイブリッド車に対応する製品群もその一つ。お客さまのニーズに合わせた独自の製品をラインナップしています。



床下パイプハーネス



端子台パワーケーブル



EV/PHEV用充電コネクタ



機器用ハーネス

TOPIC | 新技術による製品紹介

宇宙へ飛び立つ住友電装グループのモノづくり力

住友電装グループが自動車分野で培った確かな技術力と開発力に支えられたモノづくりの力は、宇宙にまで広がっています。三菱重工業(株)が製造する「H-II Aロケット」に当社グループで製作したワイヤーハーネスが取付けられています。

搭載されている機器をつなぎ、それぞれに電力や信号を送る、人間の血管のような役割を持つワイヤーハーネスは、宇宙空間という過酷な状況下においても正常に機能しなければなりません。現在はH-II Aロケットの経験を活かし、新規開発中のロケットへのアプローチを行っています。

住友電装グループはこれからも、お客さまからのあらゆるニーズに応えていきます。



H-II Aロケット

出典：三菱重工業(株)ホームページ

CSRマネジメント

住友電装グループのCSR

当社は、CSRの重点推進項目として、「持続的成長の基盤・基礎となる分野」「より良き企業市民としての役割」における8項目に取り組むことで、住友電装グループの「ありたい姿」を実現していきます。

CSR重点推進8項目

-  ガバナンス体制の強化・推進
-  品質管理
世界同一最高品質の実現
-  コンプライアンス体制の強化・推進
-  地球環境保全
-  リスク管理体制の整備・強化・推進
-  明るく活力溢れる職場づくり
-  安全衛生
労働災害撲滅に向けての取り組み
-  地域社会への貢献

グローバル企業集団として

ステークホルダーの信用・信頼

CSRを通じて住友電装グループが「ありたい姿」

- 世界同一最高品質**
世界同一最高品質を提供するグローバル企業集団
- 信頼、親み、身近**
ステークホルダーから信頼され、親しまれ、身近に感じられるグローバル企業集団
- 地域とともに生きる**
地域に根ざし、地域とともに生きるグローバル企業集団

ステークホルダーとのかかわり

ステークホルダー	ステークホルダーの概要	課題・要請	対話方法
行政 (政府・自治体)	各国の政府・自治体は、管轄を受けるとともに製品・サービスを提供するお客さまでもあります。	●法規制・行政指導等の遵守 ●税金の納付	●業界団体を通じた対話 ●各種届出、調査・アンケートへの回答
地球環境	豊かな社会の実現に向けて、環境保全を積極的に配慮した事業活動を展開します。	●温室効果ガス排出量の削減 ●省エネ、リサイクルの推進 ●廃棄物量削減	●国・地方公共団体などの環境規制の遵守 ●PDCAに則った環境保全活動
お客さま	自動車用ワイヤーハーネスを核として、世界中のお客さまに製品・サービスを提供しています。	●安全かつ高品質な製品・サービスの提供 ●お客さま満足度の向上 ●製品に関する正確・適切な情報提供	●営業活動を通じての対話 ●WEBサイト ●展示会
地域社会 NPO/NGO	世界30カ国以上で事業活動を展開している当社グループは、より良き企業市民の一員として、地域社会の発展に貢献します。	●文化や慣習の尊重、地域社会の発展への貢献 ●事故災害の防止、環境への配慮	●社員の地域貢献活動(国内外) ●工場見学、行事の開催 ●地域振興、伝統芸能の継承
社員	約20万人が全世界で活躍している当社グループでは、すべての社員が尊重し合える、明るく活力溢れる職場をめざします。	●人権を尊重した職場づくり ●多様な人材の活用 ●仕事と生活を両立しやすい職場風土づくり ●キャリアに応じた能力開発	●活き活き職場推進活動 ●グループ報 ●イントラネット ●タウンミーティング
お取引先	事業活動における貴重なパートナーとして、オープンかつ公平、公正な取引を推進しています。	●公平・公正な取引 ●人権の尊重	●調達活動 ●取引先調査 ●グローバル・サプライヤーズ・ミーティング

CSR推進体制

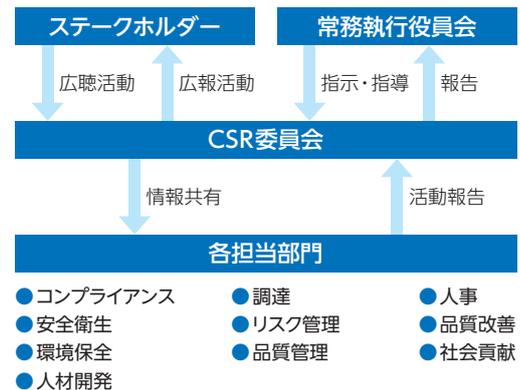
2010年5月に設置した、総務担当役員を委員長とするCSR委員会を中心にグループ横断的なCSR活動を進めています。CSR委員会では、グループの活動報告・レビュー、今後の展開についての支援・指導などを行っています。CSR委員会の活動の中には、ステークホルダーの皆さまに広報・広聴活動を行う役割もあり、そこで得たニーズに応えられるよう取り組んでいます。

SDGsへの取り組み

「持続可能な開発目標 (SDGs)」は、2015年9月に国連持続可能な開発サミットにおいて採択され「アジェンダ2030」に盛り込まれた“2030年までに人類が達成すべき17の目標 (GOALS) と169のターゲット”です。2016年から2030年まで、すべての国連加盟国において、官(政府)民(企業・市民)が連携して目標達成に向けて努力することが求められています。当社グループにおいても、事業活動を通じて社会課題の解決に取り組む中でSDGsの達成に向けて貢献していきます。

WEB http://www.unic.or.jp/activities/economic_social_development/sustainable_development/2030agenda/

CSR推進体制



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

世界を変えするための17の目標

